



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2016年11月①号

<議会報告>

昨年度の決算などを審議する議会が10月26日に終了しました。日本共産党市会議員団は84議案の内、市民の暮らしを守る立場に立ち、6つの決算議案には認定せず、2つの議案に反対しました。他は認定及び賛成をしました。

北区紫野にある**京都市立船岡乳児保育所**が、京都市立楽只保育園の分園になり、定数が60人から30人に減らされる議案には、待機児を解消することに反するもので、反対しました。数少ない公立の保育園を減らす方針で、次々と民間移管も進めています。

民間保育園も、人手不足や施設の改善などにご苦労されています。公的な支援をもっと充実させるべきです。引き続き、子ども達の発達を保障し、保護者の就労を応援する保育園を増やすために頑張ります。

意見書・決議では、「**建設労働者のアスベスト被害者の早期救済とアスベスト問題の早期解決を求める**」意見書、「**東日本大震災による避難者用無償住宅支援の継続を求める**」意見書、「**パリ協定の早期批准を求める**」意見書他2件の意見書、及びネーミングライツ決定と工事契約入札やり直しについて市長の反省と市民の信頼回復を求める「**京都市美術館の再整備に関する**」決議が全会派一致で採択されました。また、「**返還不要の給付制奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める**」意見書に賛成し、採択されました。

日本共産党北区後援会で、舞鶴の引き上げ記念館に行ってきました。

学び多き、日帰り旅行となりました。



復元された引き上げの棧橋場で

引き上げ記念館では、平和委員会の方と、引き上げ体験者の方に説明をしていただきました。8歳の時に引き上げて来たという女性のお話は、臨場感のあるお話で、とても勉強になりました。戦後71年となり、語り部さんも高齢になっておられます。「二度と戦争に参加するようなことは許さない」という思いを引き継ぎ、伝えていかなくてはならないと思いました。

高齢者のインフルエンザ予防接種のお知らせ

接種料金は2000円ですが、市民税非課税や額によって、安く受けられます。事前に区の保健センターに申請が必要です。身分証明（保険証や敬老乗車証、運転免許証など）を持って行ってください。期間は来年1月31日までですが、お早めに申請し、予防接種を受けてください。接種は最寄りの医療機関（協力機関）で受けられます。

| 区 分 | | 接種料金 |
|----------------------------------|--------------------|--------|
| 市民税課税者 | 総所得金額100万円超125万円以下 | 1,500円 |
| | 総所得金額100万円以下 | 1,000円 |
| 市民税非課税者, 生活保護受給者, 中国残留邦人等支援給付受給者 | | 無 料 |



ふるさとに帰りたくても、帰れない福島の方々への思いに、寄り添い支援を続けていきたいと思われています。写真は京都に戻られたMさんをボランティア仲間と一緒に夕食会をした時のものです。福島の方から、大変惜しまれ、ご挨拶に一緒に来られた専従者の方（写真右）からも福島の現状を伺いました。次号でお知らせします。

2011年3月11日に起きた東日本大震災と福島原発事故から、5年8か月が経とうとしています。福島県の避難地域が徐々に解除され、避難者への支援も打ち切れようとしています。問題は、避難地域が解除されても、暮らしができるようになるわけではないということです。左写真の中央の男性は、日本共産党の京都の専従者だったMさんです。原発事故後にボランティア活動で福島に行かれ、その現場の惨状から、京都から移住して、ずっと支援の活動をされてきました。しかし、今年に入り、体調を壊され、治療のできる病院が、南相馬市になく、遠く離れた地域に入院しなくてはならず、京都に戻られることになりました。避難が解除されても、多くの方が戻ってこれません。病院も買えないところに住むことは困難ということになります。

原発事故の復興は厳しい

アンテナ



